

# グッピーって どんないな？

熱帯魚の中でも優雅で美しいヒレをもつグッピーは、【熱帯メダカ】と呼ばれることもあります。血統が多く、“熱帯魚はグッピーに始まり、グッピーに終わる”といわれるほど奥が深い魚です。卵胎生といい、メスは卵ではなく赤ちゃんを産みます。比較的簡単なので、繁殖にもチャレンジしてみましょう。

## 1-1 グッピーの種類



### ブルーグラス

国産グッピーの代表品種。メタリックなボディと、青地に細かい斑点が入る美しい尾ビレが特徴。

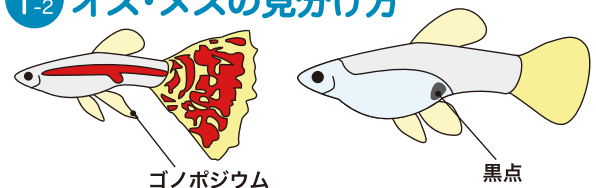
### キングコブラ

ボディの模様がヘビのキングコブラに見えることから名付けられた。古くからある人気品種。

### モザイク

グッピーの中でも特に歴史の長い品種。複数の色で構成される多色の尾ビレが特徴。

## 1-2 オス・メスの見分け方



### オス

体長は3cm～4cm。生後3週間くらいからゴノポジウムと呼ばれる、尻ビレが棒状に変化した生殖器官が発達してとがってきます。

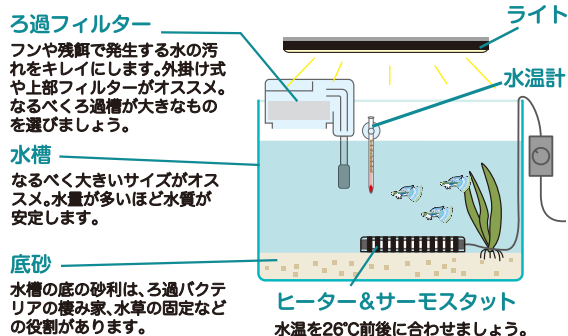
### メス

体長はオスよりも大きく、4cm～6cm。生後3週間くらいから、図のように黒点が現れます。メスの一回の出産サイクルは約30日で、一度に30～100匹の稚魚を産みます。オスの精子は、2～3回の出産分メスに蓄えられます。

# 飼育の基本

## 2-1 水槽のセットについて

窓の近くは苔が生えやすいので、日光が強すぎない場所に設置しましょう。



## 2-2 水替えについて

魚のフンや尿、エサの食べ残しによって、水は少しずつ悪くなっていきます。「透明な水」＝「キレイな水」ではありません。こまめに水替えをしましょう。



## 2-3 エサについて

1日1～2回、数分で食べきる量を与えましょう。エサに集まってこないときは、水が悪いサインです。すぐに2/3程度の水を交換し、2日間餌を与えず様子を見ましょう。毎日の給餌観察が長生きさせるコツです。

栄養バランスが良い「人工飼料」



良く食べる「天然飼料」



人工飼料に加え、天然飼料も与えて栄養を補給することで、より良い成長・繁殖数UPが見込めます。

## オススメの飼育用品



### カーボンパック

高性能活性炭。生物ろ過では分解できない水槽水の黄ばみやニオイを強力に吸着。コケの原因となるリン酸を含まない高品質の活性炭。効果は2ヶ月間維持。



### ブラックホール

超高性能活性炭。カーボンパックや従来の活性炭では取り除くことのできなかった流水の黄ばみやアクを強力に吸着。効果は2ヶ月間維持。



### ゼオパック

高純度ゼオライト。特にセット直後の水槽にたまりやすい有害なアンモニアをすばやく吸着。ろ過槽に入れるか、水槽に沈めておくだけでも効果を発揮。



### プロテクトX

「粘膜」を守るカルキ抜き。魚の粘膜に限りなく近い成分の高分子ポリマーが、傷ついた魚の粘膜を保護。水替え時や、新しく魚を購入した際に。

## 2-4 グッピーと一緒に育てられる生き物

水草はいどりを添えるだけでなく、コケの原因になる養分を吸収し、二酸化炭素を吸収して酸素を供給してくれます。また、魚のストレス軽減にもなります。水草以外にも、グッピーが食べ残したエサや、水槽内にはえてくるコケなどを食べてくれる生き物を入れるのもオススメです。



### アナビアス・ナナ

アナビアス・ナナ、ミクロソリウム、ウィローモスは、光が弱くても比較的簡単に育成できます。

### ミクロソリウム

### ウィローモス



### コリドラスの仲間

コリドラスは温和な性格で、グッピーとの相性がバッチリ。グッピーの食べ残しを食べてくれますが、コリドラス専用のエサも与えましょう。



### 青コリドラス



### コリドラス・ステルバイ



### オトシンクルス



### ミナミヌマエビ



### イシマキガイ

オトシンクルス、ミナミヌマエビ、イシマキガイは、ガラス面や水草にはえたコケを食べてくれます。